

教科(科目)	家庭（家庭総合）	単位数	2単位	年次	1年次
	必履修	必選択	総合選択	自由選択	
使用教科書	実教出版株式会社「新家庭総合」				
副教材等	実教出版株式会社「新家庭総合学習ノート」教育図書「家庭科55デジタル+」				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	～卒業までにこのような資質・能力を育みます～ ①社会の価値創造に寄与できる力を育成します。 ②自分の居場所に主体的に粘り強く関わろうとする態度を育成します。 ③自分と他者の人権を共に尊重する姿勢を育成します。
カリキュラム・ポリシー	～上記の資質・能力を育成するため、このような教育活動を行います～ ①各教科・科目で習得した知識・技能を、他教科や他分野で活用するなど、教科横断的な教育活動を展開します。 ②地域と連携する活動を教育課程に位置づけ、授業での学びが地域の充実に活かされるような授業を行います。 ③人文・自然科学系列、福祉・家庭系列、工業技術系列、ビジネス・情報系列の4系列を設置して、個別最適な学びを軸とした主体的な学習を進め、幅広い進路希望に対応します。 ④選択授業、少人数授業を数多く設定し、個性を生かした主体的な選択や実践的・体験的な学習を重視することで、生徒の適性や理解度に合わせた丁寧でわかりやすい授業を実施します。 ⑤一人ひとりの人権の尊重のもと、発達支持的生徒指導を軸に、みんなが安心して学べる場所にする風土づくりに取り組みます。

2 学習目標

人間の生涯にわたる発達と生活の営みについて総合的に捉え、家族・家庭、衣生活、消費や環境など生活を主体的に営むための技能を体験的に身に付けるようにする。また、家庭や地域での生活の向上をはかるために問題を見いだして考察するなど主体的に取り組もうとする態度を育てる。

3 指導の重点

- ① 基本的な生活力を育成するため、身近な事例を題材として取り上げる。
- ② 教材の有効活用、実習の導入など、生徒の興味・関心を引き出し意欲的な取組を目指す。
- ③ 自立した消費者としての行動を促し、態度を育てる。

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
人間の生涯と家族・家庭、高齢者との関わりと福祉、消費生活、衣生活などに関する知識・技術を総合的に身につけている。	人間の生涯と家族・家庭、高齢者との関わりと福祉、消費生活、衣生活などについて生活の充実向上を図るための課題を見だし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、表現する能力を身につけている。	人間の生涯と家族・家庭、高齢者との関わりと福祉、消費生活、衣生活について関心を持ち、その充実向上を目指して主体的に取り組もうとしている。

5 評価方法

評価方法	各観点における評価方法は次のとおりです。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	以上の観点を踏まえ、定期テスト、提出物（ワークシート、レポート）などから、総合的に評価する。	以上の観点を踏まえ、提出物（ワークシート、レポート、作品）などから、総合的に評価する。	以上の観点を踏まえ、実習への取り組み状況、提出物（ワークシート、レポート）などから、総合的に評価する。
	内容のまとまりごとに、各観点「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。内容のまとまりごとの評価規準は授業で説明します。		

6 学習計画

月	単元名	教材名	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4 5	生涯発達 自分・家族	教科書 副教材	・人の一生を生涯発達の視点で捉え、家族・家庭の意義、社会とのつながりについて考える。	10	授業の取り組み 提出物 定期テスト
6 7 8 9	衣生活	教科書 副教材 被服制作 教材	・衣服の機能や着装、管理について化学的に学び、主体的な衣生活を考える。 ・制作を通し、被服の構成や縫製技術の基礎を身につける。	25	授業の取り組み 制作作品 定期テスト
8	ホームプロジェクト・学校家庭クラブ活動	教科書	生活をあらためて見直し、解決することを検討する(個人・協同)	夏季休業中	レポート
10 11	高齢者	教科書 副教材 視聴覚教材	・高齢期についての正しい知識を学び、社会の一員として高齢者を支えるしくみや介護について考える。	12	授業の取り組み 提出物 定期テスト
12	社会福祉	教科書 副教材	・年齢や性別、人種、障がいの有無などに関わりなく、安心して充実した生活を送ることができる社会について考えを深める。	5	授業の取り組み 提出物 定期テスト
1 2 3	消費・経済	教科書 副教材 視聴覚教材	・家計と経済社会との関わりや、生涯を見通した家計管理について理解し、適切な意思決定に基づいた消費行動を考える。 ・持続可能な社会に向けて消費者一人ひとりの意識が大切であることを学び、資源や環境に配慮した生活を考える。	18	授業の取り組み 提出物 定期テスト

計70時間(50分授業)

7 課題・提出物等

- ・副教材「学習ノート」の提出
- ・ワークシートの提出
- ・レポートの提出、発表
- ・制作作品の提出 など

8 担当者からの一言

家庭総合では、よりよい生活を送るための知識と技術を身につけ、自立するための準備として2年間かけて学んでいきます。毎日の生活や将来の実生活に活かすことができる力を身につけていきましょう。